



日本大学工学部と郡山市が
「文化施設の社会的便益評価に関する調査研究」に係る
協定を締結します

令和元年8月9日
郡山市文化スポーツ部
文化振興課
担当：池田 美奈子
TEL：924-2661

文化施設の管理運営体制の質の向上を図るため、日本大学工学部と郡山市が、市民ニーズや施設価値の向上等に関する調査研究についての連携協定を締結します。

- 1 日時 8月22日(木) 午後3時
2 場所 市役所第二応接室（本庁舎2階）
3 出席者 日本大学工学部 工学部長 出村 克宣 様
建築学科教授 浦部 智義 様
事務長 佐藤 裕之 様
日本大学大学院工学研究科建築学専攻
博士前期課程1年 飯村 萌 様

郡山市長
文化スポーツ部長

4 協定の内容

- (1) 調査研究の成果を活かした文化施設の管理運営体制の質の向上に関すること
(2) 文化・芸術の振興に関すること
(3) その他協定の目的遂行上必要な事項に関すること

<協定締結の経緯等>

「けんしん郡山文化センター」の今後の施設の維持管理を検討するにあたり、市民ニーズの把握の一環として利用実態を調査する必要があり、その調査について、官・学が連携し、相互協力による研究が、より効果ある成果が期待されるため、今回の協定締結となりました。

<調査研究の目的>

- ・けんしん郡山文化センターの価値構造及びその支援のあり方について検討する。
- ・市民意識の統計を取り、けんしん郡山文化センターの価値を見える化する。
- ・市民の要望を分析し、けんしん郡山文化センターの価値をさらに向上させる方法を検討する。

<調査の方法>

- ・CVM（仮想的市場評価法）

アンケート調査を用いて対象施設に対する支払い意思額（WTP）等を尋ねることで、市場で取引されていない財（効果）の価値を計測する方法。調査項目の「顧客プロフィール」「顧客実態」「余暇活動などのその他の活動」を調べることで、利用者の傾向を分析し、今後の顧客創造への課題を明らかにします。